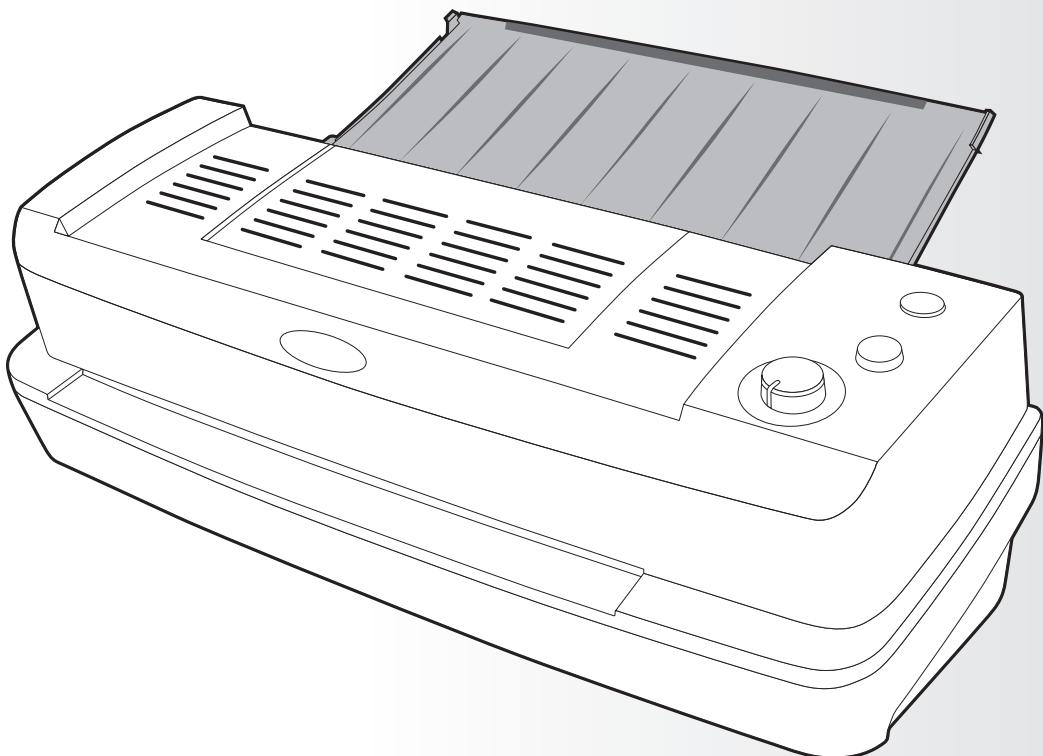


---

# ラミネーター KLM-ARP330 取扱説明書

---



このたびは、ラミネーターKLM-ARP330をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に本書をよくお読みください。
- 本書をお読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

# 安全にお使いいただくために

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。ご使用前に必ず本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示について

	この表示は、死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容です。		この表示は、傷害を負う可能性および、物的損害の発生が想定される内容です。
--	---------------------------------	---	--------------------------------------

## 図記号について

	この図記号は、絶対に行ってはいけない「禁止」の内容です。		この図記号は、指示に従い行っていただく「強制」の内容です。
--	------------------------------	---	-------------------------------

## ⚠ 警告

	<b>高温に注意</b> 製品本体の表面およびラミネート直後の加工物は、高温になっていますので注意してください。 ※高温のため、やけどをする恐れがあります。		<b>髪の毛を挿入口・排出口に近付けない</b> 巻き込まれることにより、けがなどの事故につながる恐れがあります。
	<b>幼児、お子様に使用させない</b> けがなどの事故につながる恐れがあります。		<b>電源コード・プラグを破損するようなことはしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、重いものをのせたりしない。 傷んだまま使用すると、火災・感電の原因になります。
	<b>異常があったときは、すぐに電源プラグを抜く。</b> ●機械内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき ●煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき 火災・感電の原因になります。販売店に修理をご依頼ください。		<b>アース線は、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続する</b> <b>外すときは、先にプラグを抜く</b> 感電の原因になります。
	<b>ネクタイ・ネックレス・衣類などを挿入口・排出口に近付けない</b> 巻き込まれることにより、けがなどの事故につながる恐れがあります。		<b>使用後は、安全のために電源を切り、電源プラグを抜く</b> 誤動作により、けがなどの事故につながる恐れがあります。
	<b>挿入口や排出口に手を入れない</b> けがなどの事故につながる恐れがあります。		<b>移動やお手入れの時は、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください</b> 誤動作により、けがなどの事故につながる恐れがあります。
	<b>延長コードは使用しない</b> 火災・感電の原因になります。		<b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V・50/60Hz以外で使用しない</b> 火災・感電の原因になります。
	<b>たこ足配線はしない</b> 火災・感電の原因になります。		<b>付属の電源コードを本製品以外の機器に使用しない。</b> 誤動作により、火災・感電・けがなどの事故につながる恐れがあります。
	<b>濡れた手で使用しない</b> 感電の原因になります。		
	<b>分解・修理・改造は絶対にしない</b> 感電の原因になります。 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。		

 **注意**

	本製品の上に覆いをかけたり、物をのせない 火災の原因になります。		不安定な場所に置かない 倒れて、けがの原因になります。
	本製品の清掃にベンジン・シンナー・可燃性スプレー（エアダスターなど）は使用しない 火災・変色・故障の原因になります。		機械内部に金属類を入れたり、水などをかけない 火災・感電の原因になります。
	高温になる場所や、湿気、ほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。		直射日光のあたる場所に置かない 誤動作・故障の原因になります。
	本製品の上および下に、熱に弱いものを置かない 火災・変色・故障の原因になります。		加工物とフィルムの大きさを揃えて使用する 加工物の周囲に3~5mm程度の余白ができる大きさのフィルムをご使用ください。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因になります。		ラミネートする際には、フィルムのシール側から挿入する 逆から挿入するとフィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。
	感熱紙など熱に弱いものをホットラミネートにかけない 熱に弱いものは、コールドラミネートしてください。		使用前にフィルムを切らない フィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。
	ラミネーターの操作中はそばを離れない ラミネーターから離れる場合や加工を終了した場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。		フィルムだけでラミネートしない フィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。
	有価証券や大切な用紙はラミネートしない ラミネートをした用紙は元に戻すことが出来ません。		加工物は1枚ずつラミネートする フィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。

※本製品は弊社で定める品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万が一、製造上の原因による故障または不具合がございましたら、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

※お客様または第三者が本製品の誤使用や故障、その他の不具合など本製品の使用を原因として発生した損害や逸失利益につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 本製品の特長

## 1.ホットラミネート

ホットラミネートとはラミネート(パウチ)フィルムを使用し、熱を加えて圧着する加工です。写真、手書文書、印刷物をきれいにラミネートできます。

## 2.コールドラミネート

感熱紙などの熱に弱い物をコールドラミネート(パウチ)フィルムで加工できます。

## 3.スタンバイ機能

断続的に使用される場合、不使用時に温度設定ダイヤルを【待機】に合わせておけば、再使用時のウォームアップ時間が大幅に短縮できます。

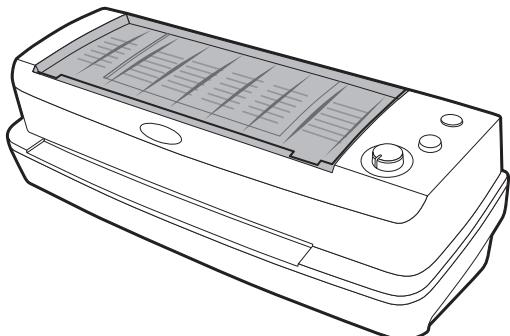
## 4.リバース機能

「逆転」ボタンを押してローラーを逆転させ、誤って挿入したフィルムを、詰まる前に取り除くことができます。

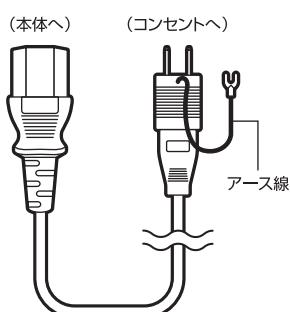
## 内容物の確認

下記のとおり、製品本体および付属品が同梱されていることを確認してください。

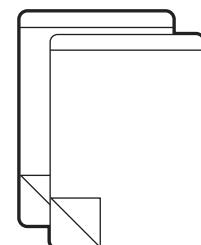
製品本体



電源コード



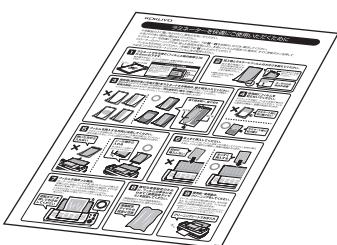
お試し用ラミネート(パウチ)フィルム



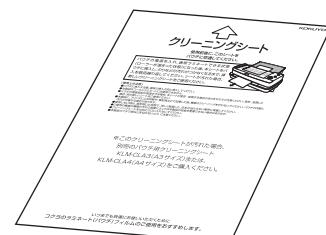
220×307mm 2枚

- 表面：ラミネーターを快適にご使用いただくために
- 裏面：コクヨ ラミネート(パウチ)フィルムのご案内

取扱説明書(保証書)

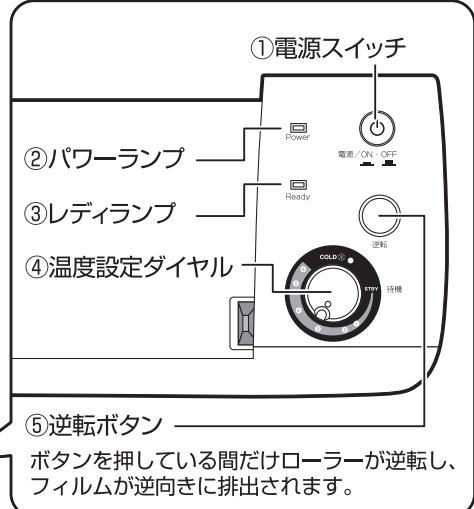
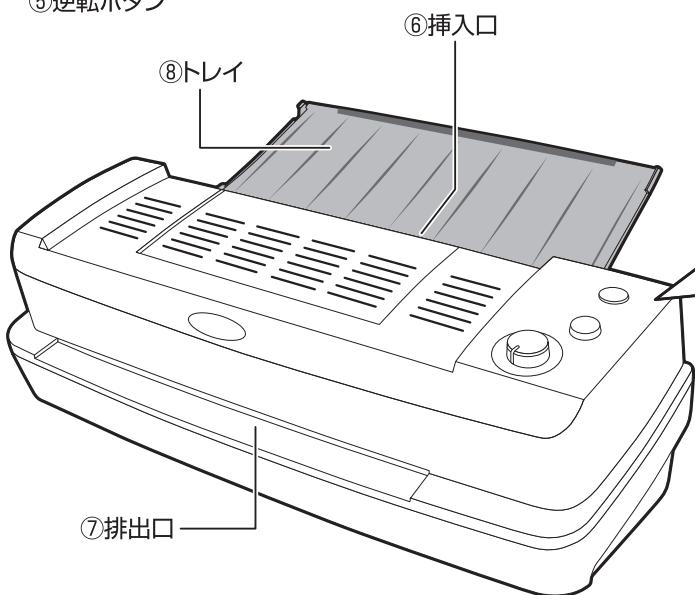


クリーニングシート



# 各部の名称とはたらき

- ①電源スイッチ
- ②パワーランプ
- ③レディランプ
- ④温度設定ダイヤル
- ⑤逆転ボタン
- ⑥挿入口
- ⑦排出口
- ⑧トレイ



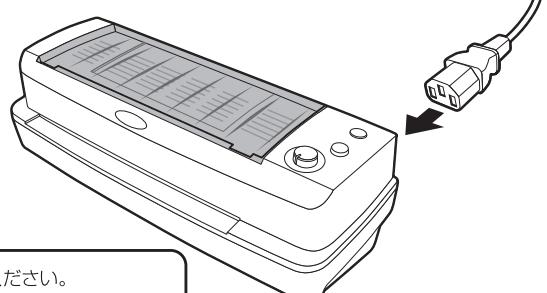
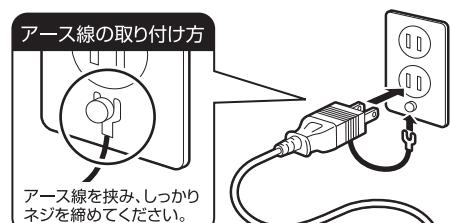
### 1 製品本体を平らで安定した場所に置きます。

- ・熱に弱いものの上に置かないでください。
- ・トレイを開き加工物をセットできるスペースを確保してください。
- ・排出口から加工物が排出できるスペースを確保してください。

### 2 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。

### 3 電源コードをラミネーター本体にセットし、電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。

- ・アース線は必ず接続してください。
- ・タコ足配線・延長コードの使用はしないでください。



注意

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
- ・長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
- ・冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。

# ～ラミネーターを快適にご使用いただくために～

※本製品の上に覆いをかけたり、物をのせないでください。

※ほこりの多い場所に置かないでください。

※ラミネーターを快適にご使用いただくために、下記①～⑨をお読みいただき、厳守してください。

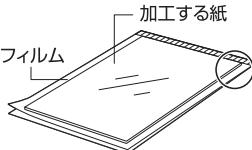
※ローラーのクリーニング不足、誤った使用方法等により、本体にフィルムが詰まった場合は、すぐに逆転ボタンを押してフィルムを引き出してください。(手順は下記⑦にしたがってください)

※必ずコクヨのラミネート(パウチ)フィルムをご使用ください。

## 1 ラミネートできる厚さ(フィルムと紙の総厚さ)は0.6mm以下です。

紙が厚すぎると、フィルムが詰まり、故障の原因になります。

※対応フィルム厚は、  
100～150μmになります。



### 100μmフィルムの場合

フィルムの厚み合計が  
200μm (0.2mm)な  
ので、ラミネートする  
紙は、0.4mm以下にし  
てください。

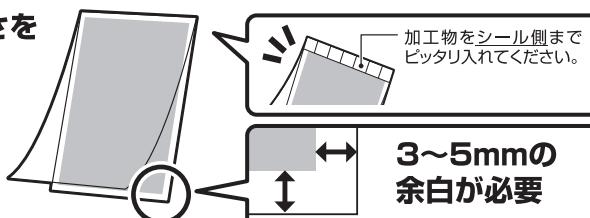
100μm



## 2 加工物とラミネートフィルムの大きさを揃えてください。

加工物の周囲に3～5mm程度の余白ができる大きさのフィルムをご使用ください。

※周囲に余白がない場合、うまくラミネートができません。

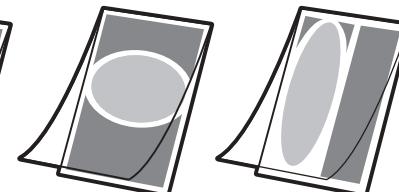
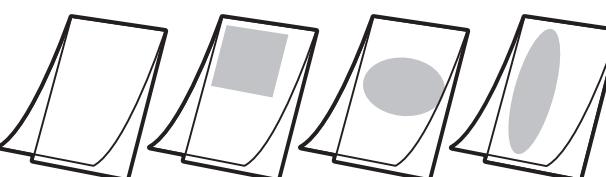


3～5mmの  
余白が必要

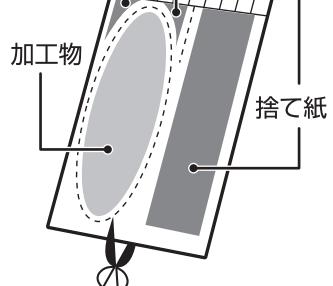
## 3 異形物(空白が生じる加工物)をラミネートする場合は、捨て紙を入れてください。

異形物をラミネートする場合、何も挟まない部分がある状態でラミネートすると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となりますので、捨て紙を使い『何も挟まない部分』が無い状態にしてください。

※フィルムだけでラミネートしないでください。フィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。

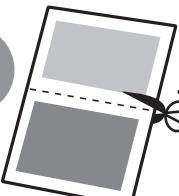


### 捨て紙を使い、後で切る



## 4 使用前にフィルムを切らないでください。

ラミネートする前に、フィルムを加工物の大きさに合わせて切らないでください。  
フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。

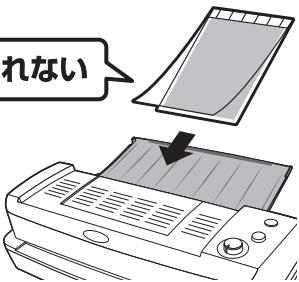


ラミネート後に  
切り離す

## 5 フィルムを挿入する方向に注意してください。

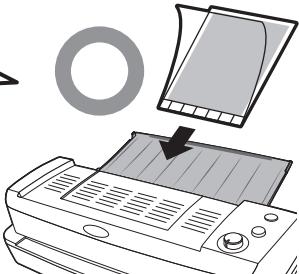
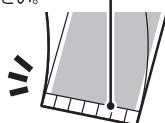
ラミネートする際には、フィルムのシール側から挿入してください。逆から挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。

開いた方から入れない



シール側から  
入れる

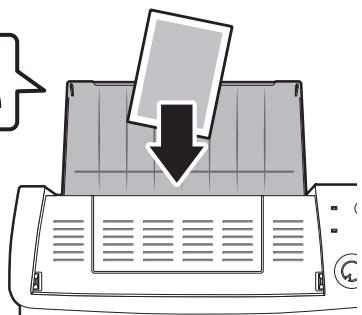
加工物をシール側ま  
でピッタリ入れてくだ  
さい。



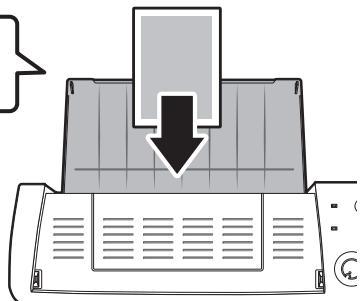
## 6 まっすぐ挿入してください。

ラミネーターには、フィルムをまっすぐ挿入してください。斜めに挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。

斜めに  
挿入しない



まっすぐ  
挿入する

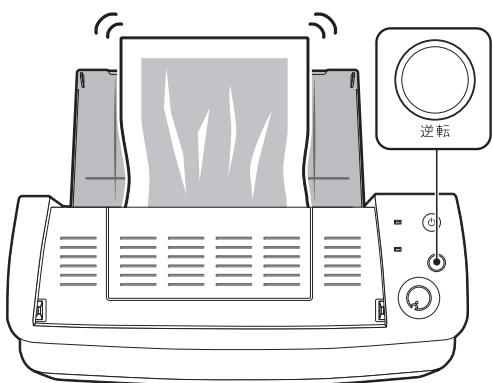


## 7 フィルムが詰まった場合。

ローラーのクリーニング不足、誤ったフィルムの挿入方法等により、本体にフィルムが詰まった場合は、すぐに逆転ボタンを押して、フィルムを引き出してください。

※できるだけ早くフィルムを引き出して取除いてください。  
※フィルムを取除いた後は、クリーニングシートを通してからご使用ください。

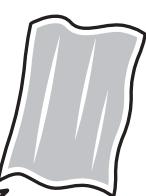
逆転ボタンを押して引き出してください



## 8 適切な温度設定のために、 フィルムの厚みにあわせて 「温度設定ダイヤル」を設定 してください。

「温度設定ダイヤル」の設定を  
誤ると、フィルムが波打ったり、  
詰またりします。

温度設定ダイヤルの  
設定に注意

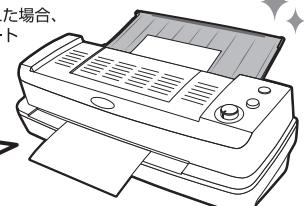


## 9 使用前・使用後は、クリーニングをしてください。

ローラーの汚れが取り除けます。汚れがあると、仕上  
がりが汚くなったり、フィルム詰まりによる故障の原  
因になります。

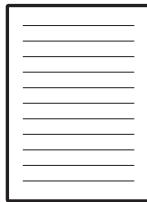
※付属のクリーニングシートが汚れた場合、  
別売のパウチ用クリーニングシート  
KLM-CLA3(A3サイズ)または、  
KLM-CLA4(A4サイズ)を  
ご購入ください。

クリーニング  
シートでお手入れ

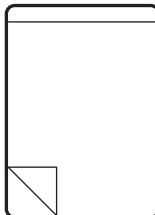


# ラミネートのしかた

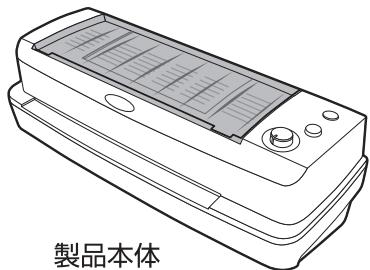
- 1** ラミネート前に、下記のものを準備してください。  
※コクヨラミネート(パウチ)フィルムをご使用ください。



加工物

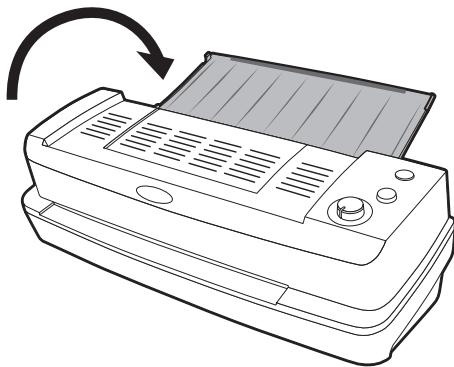


コクヨ ラミネート(パウチ)フィルム

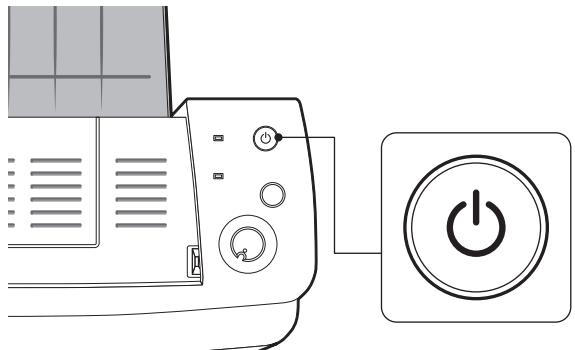


製品本体

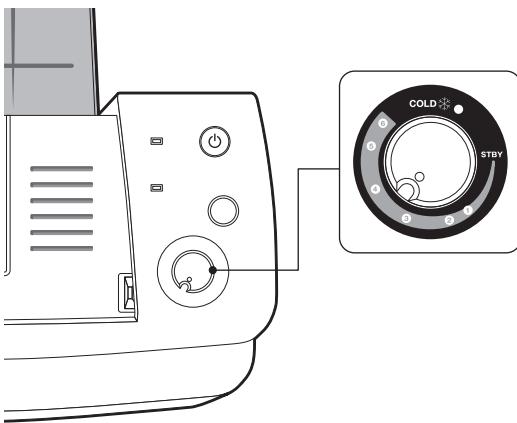
- 2** トレイを開けてください。



- 3** 電源スイッチを「ON」にしてください。  
パワーランプが赤色に点灯し、レディランプが緑色に点滅します。



- 4** 温度設定ダイヤルを下表の目安を参考に設定してください。  
コールドラミネートの場合は、温度設定ダイヤルを左にまわして【COLD】に合わせてください。



温度設定ダイヤルの設定の目安

用紙の種類	用紙の厚み (μm)	ラミネート(パウチ)フィルム		
		MSP-* * *, KLM-* * *, R2KLM-* * *	100μm	125μm
普通紙 ・コピー用紙 ・薄手のプリンタ用紙	80	1.0	1.5	2.0
	150	1.5	2.5	2.5
厚紙 ・厚手のプリンタ用紙 ・はがき、画用紙など	150	2.0	2.5	3.0
	270	3.0	3.5	4.0

上記の設定はあくまでも目安です。ラミネートする環境(温度・湿度)により設定は異なりますので、事前にテストを行い最適な温度に設定したうえ、ご使用ください。

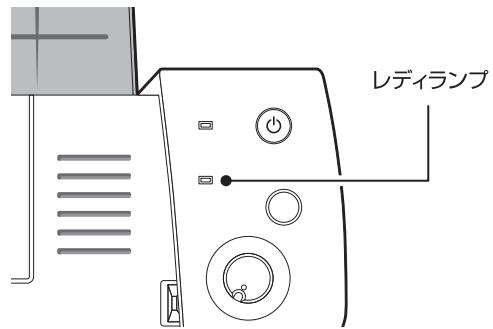
**△ 注意** 購入当初は、使用時に臭いが発生する場合がありますが、異常ではありません。換気しながらご使用ください。

- 5** ホットラミネートの場合、約3分で予熱が完了し、レディランプが緑色の点滅から点灯に変わります。レディランプが点灯するとラミネートできます。

コールドラミネートの場合は電源を入れたらすぐにラミネートできます。レディランプは点滅・点灯しません。

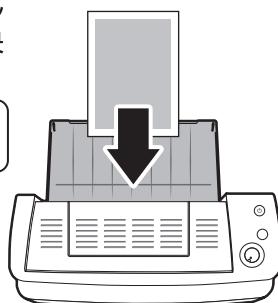
(ホットラミネートの後でコールドラミネートをする場合は、本体が完全に冷めてから行ってください。本体が熱い時にコールドラミネートを行うと、フィルムが波打ちます。)

**△注意** ホットラミネートの場合は、製品本体の表面が大変熱くなりますので、やけどにご注意ください。



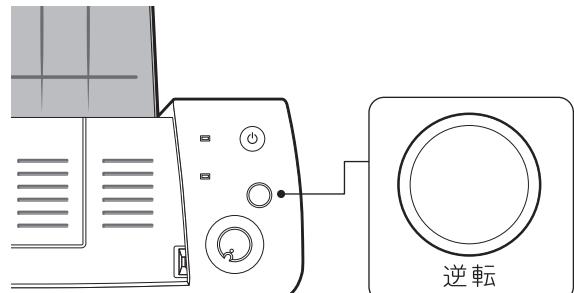
- 6** ラミネートしたい物をフィルムに挟んで挿入口のほぼ中央に挿入してください。

**△注意** シール側から挿入してください。逆から挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。



- 7** 連続してラミネートするときは前にラミネートしたフィルムが完全に排出されてから次のフィルムを挿入してください。

- 8** もし誤って、フィルムを逆に挿入したり斜めに挿入してしまった場合は、フィルムが詰まる前に「逆転ボタン」を押してフィルムを引き出してください。



- 9** 断続的に使用される場合、不使用時に温度設定ダイヤルを【待機】に合わせれば、再使用時のウォームアップ時間が大幅に短縮できます。

再度使用する場合は、温度設定ダイヤルを適切な位置に合わせてください。

- 10** 電源を切る前にローラーを清掃してください。  
ローラーの清掃方法は、P.9の「お手入れ方法」を参照してください。

- 11** 電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 12** 本体が十分に冷めてから、トレイを閉じて保管してください。

## ラミネート作業上の注意

### ① ラミネートされるものについて

- このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ・ポリエチレン等)・布・木片などは絶対にラミネートしないでください。
- 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色・変質する紙はコールドラミネートをご使用ください。
- 貴重な写真・紙幣など貴重品・複製不可能なものはラミネートしないでください。
- フィルムを含めて厚さ1mm以上になるものはラミネートしないでください。フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。
- 写真や紙をはさまないで、フィルムだけでラミネートしないでください。内部でフィルムが変形して、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。

### ② ラミネート(パウチ)フィルムについて

- 必ずコヨウラミネート(パウチ)フィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないと故障の原因となることがあります。
- 対応フィルム厚は100~150μmです。
- フィルムのサイズはラミネートするものより上下左右ともにそれぞれ3~5mm大きなものが最適です。
- 最適なサイズのフィルムがない場合は、大きめのフィルムを使用して、捨て紙を空いたスペースに入れてラミネートしてください。ラミネート後、サイズに合わせてカットしてください。
- ラミネートする前にフィルムをカットしたり、変形させたり、継ぎ足したりしないでください。カット、変形、継ぎ足しは、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。

### ③ ラミネートするとき

- 必ず加工物をフィルムに挟んでラミネートしてください。
- ラミネートする紙は必ずフィルムのシール側(接合部)に押し当てるでセットしてください。
- 必ずフィルムはシール側からラミネーターに入れてください。開いた側から入れると、フィルムがよれてフィルム詰まりを起こします。

### ④ ホットラミネート・コールドラミネートについて

- ホットラミネートとはフィルムを使用し、熱を加えて圧着する加工です。
- コールドラミネートとはコールド専用のフィルムを使用し、熱を加えずにローラーの圧力で仕上げる加工です。
- コールドラミネートは和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色・変質する紙をラミネートする場合にご使用ください。

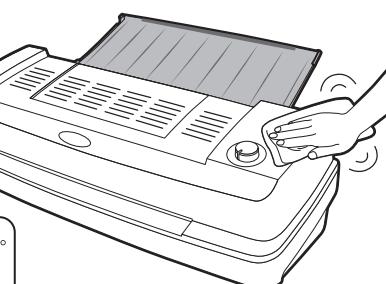
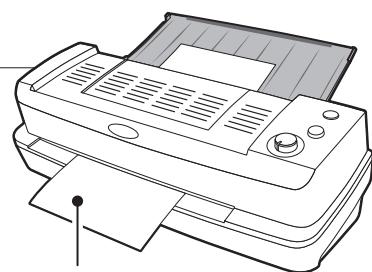


- 注意  
・間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが製品内部に詰まつて故障の原因となります。  
・貴重品・複製不可能なものはラミネートしないでください。

## お手入れ方法

### ローラーの清掃方法

ラミネートが終了しましたら、ローラーを清掃するために、温度設定ダイヤルを「3」に設定し予熱が完了したうえで、同梱のクリーニングシートを挿入口より入れてください。クリーニングシートにのりなどの汚れが付かなくなるまでこの作業を数回繰り返してください。ローラーが汚れていると、フィルムが製品本体に巻き込まれる原因となりますので、ラミネート後は必ずクリーニングを行ってください。



### 本体の清掃方法

電源スイッチを必ず「OFF」にして、電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認してください。

- やわらかい布で「から拭き」をしてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。



- 注意  
・シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色・変形・傷などの原因になります。  
・可燃性スプレー(エアダスターなど)は使用しないでください。  
・拭きそうじは製品本体の外部だけにしてください。

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に以下を確認してください。いずれにも当てはまらない場合は、販売店にお問い合わせください。

こんなときは	ここを確認してください	対処方法
・電源が入らない ・モーターが回らない	電源プラグが本体とコンセント両方に正しく入っていますか？	確実に差し込んでください。
	電源スイッチは「ON」になっていますか？	電源スイッチを「ON」にしてください。
・ローラーが温まらない	温度設定ダイヤルが【COLD】になつていませんか？	ご使用になるフィルムの厚さに合わせて温度設定ダイヤルをまわしてください。
・フィルムが詰まる ・気泡が発生する	下記の紙を使っていますか? ・湿ったままの紙      ·折れたままの紙 ·カールしたままの紙    ·凹凸の著しい紙	きれいな紙を用いてください。
	紙以外の材質をラミネートしていませんか? ·金属    ·ガラス    ·プラスチック	紙以外のものをラミネートしないでください。
・ラミネートされたフィルムが波をうっている	温度の設定が高すぎませんか？	温度設定ダイヤルを少し左へ回して温度を調節してください。 レディランプが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。 ※設定温度に下がるまで、長く時間がかかります。
・ラミネートされたフィルムの表面が曇っている	温度の設定が低すぎませんか？	温度設定ダイヤルを少し右へ回して温度を調節してください。 レディランプが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。
・フィルム表面に筋状の汚れが発生する	ローラーが汚れていませんか？	ローラーを清掃してください。 (P.9の「ローラーの清掃方法」参照)

## 仕様

品名	ラミネーター
品番	KLM-ARP330
サイズ(W)×(D)×(H)	W507×D198×H169mm
最大ラミネート幅	330mm
最大通過厚 ※機械に通せる最大厚みのこと	1mm
最大ラミネート可能厚 ※ラミネート出来る最大厚みのこと	0.6mm
対応フィルム厚	100~150μm
ローラー数	4
コールドラミネート機能	あり
加熱方式	トリプルヒートプレート方式
ウォームアップタイム	約3分
リバース機能	あり
モーターフорм	ACモーター
ラミネート速度	約10~13mm/秒(50/60Hz)
質量	7kg
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	900W